

南陽図書館つうしん 2024 春号

〒455-0857 名古屋市港区秋葉一丁目 130-79

TEL:052-301-2116 Fax:052-301-2117

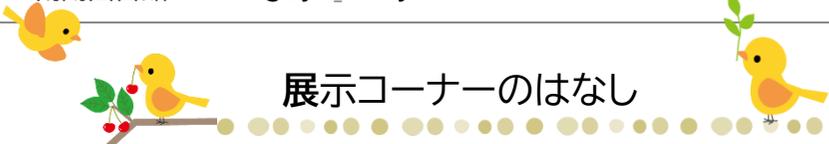
休館日:毎週月曜日(祝日の場合は開館し、直後の平日を休館)

第3金曜日(祝日の場合は開館) 年末年始(12/29-1/4)

特別整理期間【令和6年度 6月17日(月)~21日(金)】

名古屋市図書館ホームページ:<https://www.library.city.nagoya.jp>

南陽図書館X:@nagoya_nanyolib



展示コーナーのはなし

南陽図書館では、1階フロアのカウンターの近くに本の展示コーナーを設けています。展示は交替制で、担当になった職員が毎回頭を悩ませてテーマを決めています。こんな種類の本もあるのかと、来館の際に目をとめていただけたらうれしいです。

また時期によっては、書架の側面を利用した展示も行っています。昨年度は夏休み期間にいきもの写真展、秋から冬にかけて南陽高校の生徒さんの書やイラスト、写真を展示しました。

そして、実はもう一箇所、2階にも展示コーナーがあるのです。通路の壁を利用したパネル展示のコーナーです。ただ、2階は新聞コーナーと学習室、集会室があるだけなので、ご存知ない方も多と思います。いつも展示がある訳ではありませんが、毎年定期的に東海農政局や南陽高校作成のパネルを展示しています。昨年は、名古屋市図書館100周年を記念してのパネル展示、認知症、伊勢湾台風の展示も行いました。パネル展示中は入り口の看板でお知らせしますので、興味を持たれたら2階までぜひどうぞ！(なか)



この印刷物は再生紙を利用しています。

おすすめ
します！

新しく入った本の紹介



温泉旅行の近現代

高柳友彦／著 吉川弘文館(689)

現代の私たちは、交通機関や車を使い、ネットや本で情報収集し、好きな温泉地へ行くことができます。江戸時代の人々は何日も歩いて、「温泉番付」などを手がかりに温泉地を目指しました。そして明治に入ると鉄道が開通し、温泉地をめぐる環境もガラッと変化していきます。誰と行ったの？何日かかったの？費用は…？近世から現代にかけての、温泉旅行の変遷をたどります。



エナガの重さはワンコイン 身近な鳥の魅力発見事典

くますけ／絵・文,上田恵介／監修 山と溪谷社(488)

エナガの体重は 500 円玉と同じ7gしかないそうです。街のどこでも見かけるスズメ、じつは寿命は 1 年 3 か月ほどで、今見ているスズメを来年見ることはないそう。ウグイスのさえずりはなんと1日 2000 回以上！身近な鳥でも知らないことがたくさんあります。双眼鏡とカメラを持って鳥の観察はいかが。



紫式部本人による現代語訳「紫式部日記」

古川日出男／著 新潮社(F)

今から千年の昔、平安時代の貴族の生活はどのようなものだったのでしょうか。『源氏物語』の著者でもある紫式部の日記が本人の解説も入った現代語訳版となりました。自らをシングル・マザーでフィクション・ライターと言うなど親しみやすい文で、中宮さまの皇子出産の様子や女房たちの日々の生活が描かれていて、興味深く読み進められます。



表紙画像は、出版社の許諾済みです。



★南陽図書館からのお知らせ★



行事のお知らせ

・しゃぼんだま 春のウキウキおはなし会

日時：3月23日(土)

①午前10時30分～10時50分

②午前11時 10分～11時30分

*①と②で紹介する絵本や紙芝居は異なります。

対象：乳幼児とその保護者(小学生以上でも入れます)

*申込はいりません。当日直接集会室へお越しください。

*詳しくは、チラシや図書館ホームページをご覧ください。



行事実施のご報告

1月20日(土)に南陽高校 Nanyo Company 部とのコラボ企画「～素敵にアップサイクル！～余り布で「あずま袋」を作ろう」を開催しました。アップサイクルとは、いらなくなったもの、捨てられるものなどにアイデアやデザインなどの新しい付加価値を加えて、別のものにアップグレードして生まれ変わらせることです。



今回は地元企業とのコラボも実現。老舗繊維企業「瀧定名古屋」から余り布を提供してもらい、ブラザーからミシンをお借りしました。部員たちが優しく教えてくれたので、ミシンが初めての小学生から大人の方まで、皆さんオンリーワンの素敵なあずま袋を作ることができました！



お探しの本は、何ですか？



図書館にある本は、慣れないと自分で探すのは大変です。読みたい本が決まっても、本の名前を勘違いしていたり、書いた人のヨミが違っていたり、誰かが借りていることもあります。また、探したい内容が、どこの棚の本にあるのかわからないということも。

探し物が見つからない時には、窓口の職員にお声がけください。図書館は、本の貸し借りするだけの場所ではありません、皆様の『調べ物のお手伝い』(レファレンスサービス)は、大事な仕事の一つです。しかし、毎年実施する利用者アンケートでは、図書館が調べ物のサポートをしていることを知らない方が、50%を超えます。

『名古屋弁で書かれたカルタはない?』『山田才吉が作った「南陽館」について調べたい』『ヤモリの出てくる絵本が読みたい』など今年度も様々なお尋ねがありました。すばやく見つけ出し、資料を差し出せる時ばかりではありませんが、糸口を探すべくお話を聞かせていただきながら解決したいと思っています。どうぞ、お気軽にレファレンスサービスをご利用下さい。(梅村)



南陽図書館 X(旧ツイッター) やってます！

南陽図書館 Xは、この3月で開設3周年を迎えました。行事・展示などの告知、おすすめ本の紹介から、何気ない日常まで、色々なことをつぶやいています。ぜひ、フォローお願いします！



@nagoya_nanyolib